



農場、関連施設に、鳥インフルエンザウイルス、豚熱ウイルスを

持ち込まない

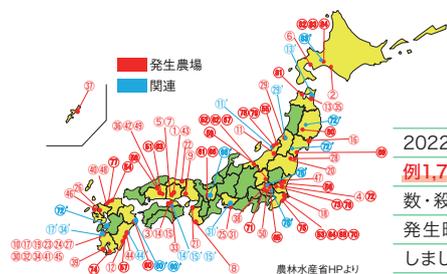
広げない

持ち出さない

持続可能な日本の養鶏・養豚産業のため 業界に関わる全員が防疫対策の基本を徹底しましょう

鳥インフルエンザウイルスは、渡り鳥とともに日本国内へやってきます。

今シーズンも、鳥インフルエンザウイルスは、渡り鳥とともに日本に侵入する可能性があります

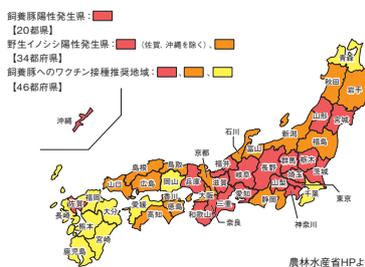


2022-23年は、**26道県84事例**、**1,771万羽**の殺処分と事例数・殺処分羽数とも過去最多。発生時期も約7か月と長期化しました。

※番号は発生期

豚熱ウイルス (CSF) は、九州まで広がっています。

野生イノシシでのCSF検出の有無に関わらず、防疫対策を徹底することの重要性が示唆されています。



2023年8月31日までに、**20都県89事例37万頭**が殺処分されています。令和5年8月29日、野生イノシシではCSFが未検出であった九州(佐賀県)の農場で初のCSFが発生しました。

鶏舎・豚舎は家畜防疫の**最後の砦**、徹底強化でウイルスの侵入を防ぎましょう

飼料科学研究所、全農畜産サービス協では、防疫に関する様々な資料を取り扱っています。

野生動物の侵入防止対策



畜舎の開口部、隙間、防鳥ネットの穴は必ず対策し、野生動物の侵入を防ぎましょう。フェンスの設置、近隣の除草や水辺の防鳥対策も重要です。

畜舎への病原体防止対策

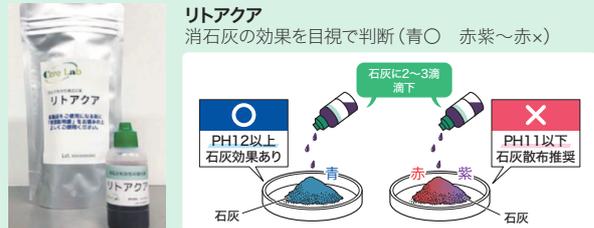


踏み込み消毒槽の前に、ブラシで長靴の汚れを落として消毒効果をUP
長靴の履き替えはスノコを使って交差汚染を防ぎましょう。

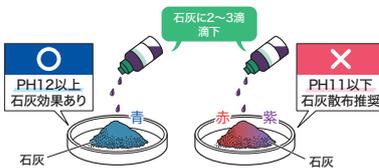
防疫対策資材の効果的な利用で消毒効果を高めましょう



フィーナチュラルFNPパウダー 逆性石けんのアルカリ化で消毒効果の強化
グロリアフォームマスター 効果の高い発泡消毒!



リトアクア 消石灰の効果を目視で判断(青○ 赤紫〜赤×)



全農畜産総合情報サイト「JACC ネット」では、分かりやすい家畜防疫に関するコンテンツを多数用意しています。農場従業員の方への研修用としてもご利用できますので、ぜひご活用ください。

JACCネット 検索



家畜防疫のとりくみ



動画での防疫マニュアルはコチラから



飼養衛生ガイドブック



中央畜産会、農水省、JA 全農等で作成